

# 平成26年度予算を公表

平成26年度は、個人市民税、固定資産税を中心に市税収入に改善の兆しがみられるものの、税収のピークである平成20年度決算と比較すると、約18億円の減となることから引き続き厳しい行政運営となる見込みです。このため、市民にとって必要なサービスの提供と財政健全化の両立を取り組むとともに、中長期的な行政課題の解決に向けて、将来にわたって必要となる施策展開に備えた予算編成となりました。

図財政課

**総額1,070億1,738万円**  
(前年度比4.6%増)

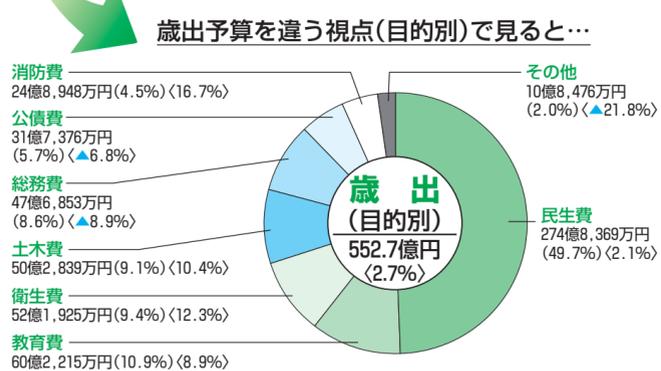
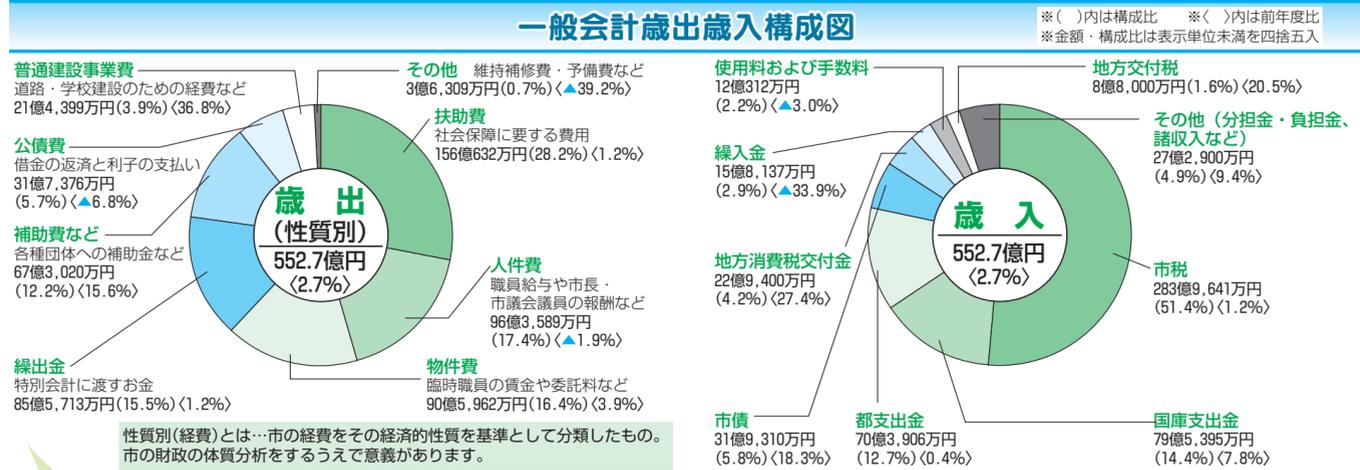
一般会計 **552億7,000万円**  
(前年度比2.7%増)

特別会計 **517億4,738万円**  
(前年度比6.7%増)

平成26年度予算編成の基本的な考え方

【テーマ】中長期的視点による施策の重点化と財源配分

- 市民にとって必要なサービスの提供と財政健全化の両立
- 中長期的な行政課題の解決に向けて、将来にわたって必要となる施策展開に備えた予算



### 市民1人当りに換算すると…

※( )内は前年度比

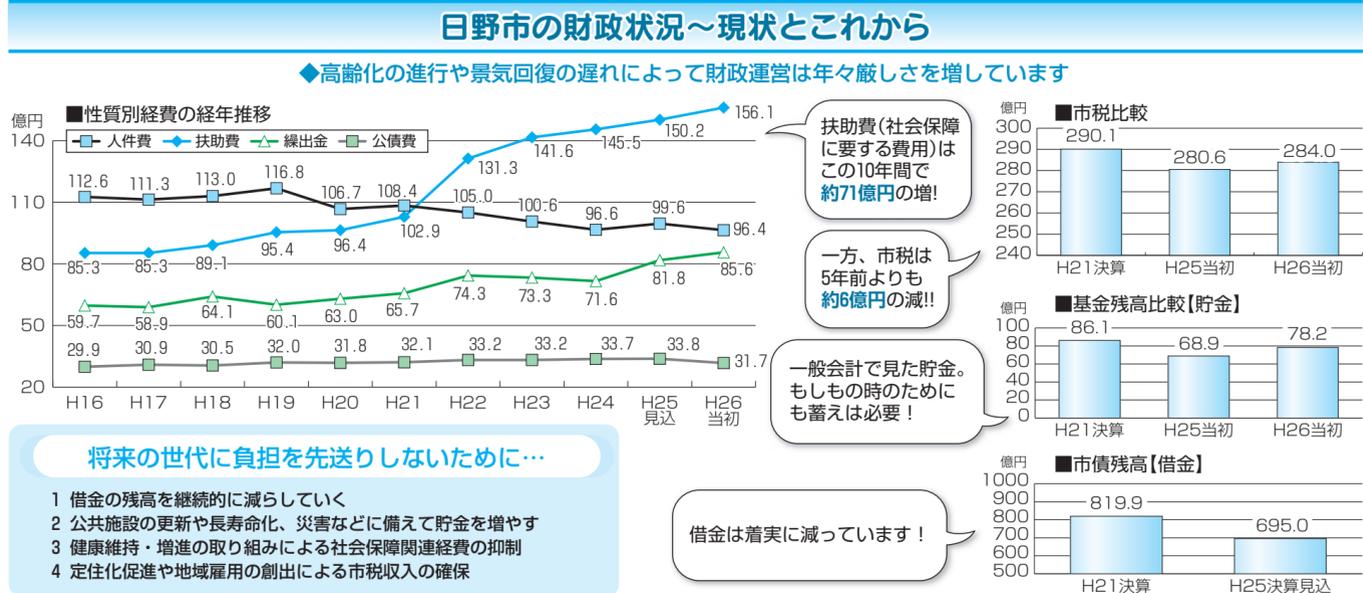
1人当たり税負担 15万7,958円(781円増)  
1人当たり歳出額 30万7,446円(6,061円増)

- 民生費** 15万2,882円 (2,129円増)  
高齢者や障害者などに対する社会福祉、児童福祉や生活保護のための費用
- 教育費** 3万3,499円 (2,514円増)  
小・中学校教育、社会教育、市民会館、公民館活動、スポーツ活動などの費用
- 衛生費** 2万9,033円 (3,003円増)  
ごみ処理、保健衛生、予防接種、環境衛生などの費用
- 総務費** 2万6,526円 (▲2,793円減)  
庁舎管理、徴税、統計、選挙事務や戸籍、住民登録などに必要な費用
- 土木費** 2万7,971円 (2,472円増)  
道路の新設・維持管理や公園整備、市営住宅の維持管理などの費用
- 公債費** 1万7,654円 (▲1,428円減)  
市債(市の借り入れたお金)の返済のための費用
- 消費費** 1万3,848円 (1,897円増)  
消防活動、災害対策などの費用
- その他** 6,034円 (▲1,732円減)  
市議会運営、労働、農業、商工振興などのための費用
- 貯金(基金残高)** 4万3,505円 (4,903円増)
- 借金(市債残高)** 17万985円 (▲4,918円減)

※歳出額は一般会計のもの ※市民1人当たりの金額は平成26年4月1日現在の人口179,771人で算出

### 平成26年度の主な取り組み

- I 参画と協働のまち 7億5,704万円**
  - 新しい地域コミュニティの仕組みづくり
  - 戦略的な情報発信と新たな情報発信ツールの活用
- II 子供が輝くまち 51億6,157万円**
  - 子供・子育て支援新制度の骨格づくり
  - 保育園の待機児童解消のための取り組み
  - 発達・教育支援の充実
- III 健やかでともに支えあうまち 12億1,327万円**
  - より良く生きるための健康長寿の取り組み～ヘルスケア・ウェルネス戦略～
  - 住み慣れた地域での暮らし・福祉・医療の連携
- IV 日野人・日野文化を育てるまち 1億4,184万円**
  - 学び、学び合う、地域に根差した生涯学習の推進
  - 身近にスポーツを楽しむ環境づくり
- V 自然と調和した環境に優しいまち 16億7,037万円**
  - 広域化による可燃ごみ処理施設建設の推進
  - 日野の水と緑を活かしたまちづくり
- VI 安全で安心して暮らせるまち 3億8,816万円**
  - いつ来るかわからない災害などへの備え
  - 安全安心な暮らしを目指して
- VII 地域の魅力を活かした活力あるまち 43億849万円**
  - 将来を見据えた戦略的まちづくり
  - 元気に一歩踏み出そう！歩きたくなるまちづくり
  - 産業活性化による日野の魅力向上



### 将来の世代に負担を先送りしないために…

- 1 借金の残高を継続的に減らしていく
- 2 公共施設の更新や長寿命化、災害などに備えて貯金を増やす
- 3 健康維持・増進の取り組みによる社会保障関連経費の抑制
- 4 定住化促進や地域雇用の創出による市税収入の確保

### 特別会計の概要

前年度に比べ、6.7%増(3億2,401万円増)となりました。主な増加理由は介護保険給付費の増、後期高齢者支援金の増など、高齢者人口の増に伴う保険給付費などの増加によるものです。土地区画整理事業特別会計については、東町地区の木造密集区域の整備など、前年度当初予算と比較すると増となっています。

■平成26年度 特別会計別予算額

会計名	予算額	対前年度当初予算比
国民健康保険	177億7,622万円	2.3%
土地区画整理事業	39億3,591万円	25.6%
下水道事業	49億9,544万円	▲1.5%
介護保険	117億8,033万円	8.7%
後期高齢者医療	34億9,244万円	4.1%
市立病院事業	97億6,704万円	11.8%
計	517億4,738万円	6.7%

※金額は各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります

### 平成25年度下半期財政状況 (平成26年3月31日現在)

■市有財産

土地	166万㎡
建物	35万㎡
公共施設建設基金	12億9,330万円
職員退職手当基金	12億6,274万円
財政調整基金	32億6,490万円
環境緑化基金	6億4,824万円
平和事業基金	1億円
バリアフリー事業推進基金	8,265万円
土地区画整理事業基金	27億5,684万円
介護給付費準備基金	7億5,633万円
市民体育施設整備基金	4億2,177万円
学校施設整備基金	5億7,580万円
減債基金	2億5,696万円
新選組関連資料収集基金	1,692万円
ごみ処理施設整備基金	14億1,550万円
福祉あしん基金	4,974万円
合計	129億170万円

■市債の状況 (単位: 億円)

会計名	平成24年度末残高	平成25年度借入金	平成25年度元金償還額	平成25年度末残高
一般会計	314.1	22.9	29.6	307.4
下水道事業特別会計	284.6	5.4	20.4	269.6
市立病院事業会計	85.1	0.9	4.2	81.8
土地区画整理事業特別会計	39.0	0.3	3.1	36.2
合計	722.8	29.5	57.3	695.0

※金額は各欄ごとに1千万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります

■平成25年度下半期各会計別予算執行状況 (単位: 億円)

会計名	予算額(補正後)	収入済額	支出済額
一般会計	571.0	543.8	516.3
国民健康保険	175.6	164.3	160.9
土地区画整理事業	32.9	23.3	5.3
下水道事業	49.3	41.1	42.8
介護保険	114.0	101.7	99.1
後期高齢者医療	34.0	32.5	33.1
市立病院事業(収入)	84.9	69.1	
市立病院事業(支出)	89.2		73.3

### 日野市における地方消費税交付金(消費税率引き上げ分)の使い道

平成26年度の地方消費税交付金の増分(消費税率引き上げに伴う増分)は、4億8,800万円になる見込みで、下表の通り全て社会保障施策に充てられます。

■日野市における地方消費税交付金(消費税率引き上げ分)の充当先

国による分類	日野市の予算による分類	財源内訳				
		事業経費	特定財源	一般財源	左記のうち引き上げ分の地方消費税(社会保障財源化分の市町村交付金)	
社会福祉※1	障害福祉費、老人福祉費※4、児童運営費、保育園費、扶助費	141億4,552万円	76億1,212万円	7億1,910万円	58億1,429万円	2億3,620万円
社会保険※2	国民健康保険事業費、介護保険特別会計および後期高齢者医療特別会計への繰出金	56億7,129万円	4億3,825万円	0	52億3,305万円	2億1,259万円
保健衛生※3	予防費・健康管理費	12億3,034万円	1億9,719万円	6,790万円	9億6,526万円	3,921万円
平成26年度当初予算額552億7,000万円のうち		210億4,715万円	82億4,756万円	7億8,700万円	120億1,259万円	4億8,800万円

(注) 金額は各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。  
※1 社会福祉…生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害福祉など  
※2 社会保険…国民健康保険、介護保険、年金など  
※3 保健衛生…医療に係る施策、感染症その他の疾病の予防対策、健康増進対策など  
※4 社会保険に係る介護保険特別会計および後期高齢者医療特別会計への繰出金を除く